

# 日本の民主主義が問われている

沖縄県の翁長雄志知事が名護市辺野古の埋め立て承認を取り消したことの是非を争う辺野古代執行訴訟の審理が12月2日、福岡高裁那覇支部で始まりました。安倍政権は、新基地ノアの圧倒的な民意を無視し、法をねじ曲げ権力を乱用して、辺野古に基地を押しつけようとしています。日本の民主主義のあり方が鋭く問われています。そこで、この問題について考えるために、第1回口頭弁論での翁長知事の冒頭意見陳述(要旨)を紹介します。

「歴史的にも現在も沖縄県民は自由・平等・人権・自己決定権をないがしろにされてまいりました。私はこのことを『魂の飢餓感』と表現しています。

沖縄は約500年に及ぶ琉球王国の時代がありました。琉球は1879年、琉球処分という名目で軍隊を伴って日本に併合されました。70年前、軍隊と民間人が混在しての凄惨な地上戦が行われ、沖縄県民約10万人を含む約20万人が犠牲になりました。戦後は、『銃剣とブルドーザー』で土地を強制的に接収されました。1952年、日本の独立と引き換えに、沖縄は米軍の施政権下に置かれました。

沖縄が米軍に自ら土地を提供したことは一度もありません。そして戦後70年、今度は日本政府によって『銃剣とブルドーザー』を彷彿させる行為で美しい海を埋め立て、耐用年数200年ともいわれる基地が造られようとしています。米軍基地に関してだけは、米軍施政権下と何ら変わりありません。

辺野古新基地は、完成まで約10年、場合によっては20年かかります。その期間、米軍普天間飛行場の危険性が放置される状況は『固定化』そのものではないでしょうか。

『沖縄は基地で食べているんでしょ。だから基地を預かって振興策をもらったらいいですよ』という言葉くらい、真実と違い沖縄県民を傷つける言葉はありません。沖縄は基地経済で成り立っているというような話は今や過去のものとなり完全な誤解であります。

#### 日本国憲法第9条

1、日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
2、前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



この写真は会員の方からの投稿です

永遠の 約束手形  
これは  
植民地支配と侵略をした国からの  
アジアの人々に  
多大な損害と苦痛を与えた国からの

これが  
わたしたちの 七十年間の誇り  
誰が 他国に銃を向けようか  
誰が わが子に銃を持たせようか  
だから  
陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない  
国の交戦権はこれを認めない

だから 今夜も  
納得して眠りにつくことができる  
だから 明日に向かって  
今夜も米をつくことができる

それは  
国権の発動たる戦争を放棄  
武力による威嚇を放棄  
武力の行使を放棄

たしかに そうだ  
わたしたちの 身体の間々まで  
血液のように 流れているもの

### 永遠の約束手形

いいむら すす

詩誌「詩人会議」より  
ご本人の了解を得て掲載



おがわ町九条の会は、左の「戦場ぬしみ」の上映会に、下記のように取り組みます。

■日時 2016年1月30日(土)  
・10:30~12:30  
・14:00~16:00  
(16時より懇談会を予定しています。)

■場所 小川町図書館視聴覚室  
■料金 500円

# TPP(環太平洋連携協定)を考える No3

TPPが既定事実扱われていますが、国会審議も始まっておらず、協定文書も未定です。アメリカ・日本で承認されないと協定の発効はできません。専門家による協定・交換公文等の詳細検討が始まっております。国会での徹底審議を通して内容と暮らしへの影響を見極めて対応を判断してゆく必要があります。今回は、**食の安全・安心**について考えてみましょう。(今回も、監修等、輪湖昇さんにおりました。)

戦後の食糧難や震災時を振り返るまでもなく、命の源としての食糧確保はまさに「国家行政」の最重要事項です。先進各国は食糧を「戦略物資」「食糧主権」として自給力を確保しています。我が国は自給率40%、TPPによりさらに低下することが懸念されています

食料自給率に関する意識(平成 22 年内閣府調査)

○食料自給率を高めるべきと思う者の割合

○現在の食料自給率が低いと思う者の割合

低い 51.6% | どちらかといえば低い 23.3% = 74.9%

高めるべき 61.4% | どちらかといえば高めるべき 29.3% = 90.7%

## ○輸入食品は不安定で価格上昇気味:

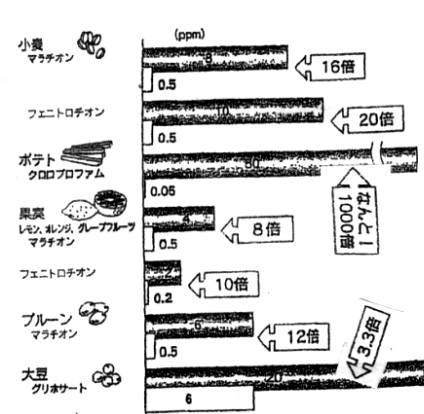
国の23年版「白書」でも、「異常気象の頻発と農産物生産条件の悪化等、食糧需給は不安定な状況が続く、価格は上昇傾向」「農産物の貿易量は少なく、特定の国や地域に偏り、不作時等に自国の安定供給を優先して輸出規制が見られる」と述べられています。

## ○輸入食品の安全基準大丈夫なの:貿易促進に貯め安全基準の大幅緩和

現在 WTO(世界貿易機関)の統一規格(コーデックス規格)が食品の安全基準になっています。この作成には農薬会社、穀物メジャー、商社等利害関係者も入っており貿易促進を目的に既存の基準を緩和する方向に動きました。

統一された安全基準の改定前との比較

(上段:新基準 下段:改定前)



④ マラチオン→有機リン系殺虫剤  
フェニトロチオン→  
(スミチオン)  
クロロプロファム→除草剤  
(ジャガイモ芽止めに使用)  
グリサポート→除草剤  
(遺伝子組み換え作物に使用)

ブロッコリーのビタミンCの国産・輸入もの比較 (単位:mg/100g)

国産品 4ヶ平均:153.6	輸入品 3ヶ平均 93.5
	国産品比較:59.%

## ○輸入食品(ブロッコリー)は;有機リン系殺虫剤検出、ビタミンC 国産の6割

輸入が50%を占めるブロッコリー、米国産ブロッコリーから複数の有機リン系殺虫剤が検出、いつまでも青々しているのは成長調整剤か?ビタミン C は国産の6割台しかありませんでした(農民連分析センター)。少々高くても国産は安全で栄養価も高い。

## ○輸入食品の検査実施は 8.8% (14 年)91.2%は書類審査で輸入。

厚労省の輸入食品・検査検査センターは横浜と神戸の2か所しかなく、食品衛生監査員 400 人弱で輸入件数 200 万件近いものを担当している現状です。違反食品の話題が絶えない中、抜本的な体制強化が求められています。

## ○小川町でも食糧・エネルギー・福祉の地域自給の動きが

輸入食品の安定供給・安全性不安、経済優先のグローバルイズムに限界を見て、食糧の地域自給を目指す動きが起きていますが、小川町でも、「里山資本主義」=地元資源を生かした循環のまちづくりをテーマに掲げた活動が始まっています。

# 新春

## リレーメッセージ



## だまっちはいられない

下里 島田悦夫

日本国憲法が制定されてから 70 年がたとうとしている。その中で私は生活してきた。そのおかげで、日本人は銃を持って一人の人間も殺さずにすんできた。「戦後」を過ごしてきた。いつまでも「戦後」であってほしいと願っている。

安倍内閣が「戦争法」を強行しても、日本人の平和を願う心は失われてはいない。ただ国会に国民の声を聞く耳を持たない議員が多くなってきただけだ、と思っている。

私の父は、マレー戦線で負傷し、一時失明して不自由な生活を送らされた。そのため戦争については多くを語らなかった。母は、アメリカ軍の機銃掃射で追われ、命からがら水路に逃げ込んだという。伯父は、昭和 29 年にフィリピンで「戦死」した。きっと最後から 2 番目の戦死者だったろう。悲劇を繰り返させないためにも、私は「戦争法」の廃止を求める。

日本人が戦争の悲劇を繰り返さないために、今こそ憲法を守り、戦争反対の声を大きくしなければならぬ。

## TPPの危険性

腰越 新井喜代美

以前のアメリカではその人が属する社会階層の主な目印は服装だったそうです。しかし今のアメリカは、目印が食卓に並ぶ食事に変わったといえます。アメリカでも地産地消がやり、値が高くても野菜や果物、穀物、肉は、地元の新鮮な有機食材を使います。一方、所得が低い事情から、満足に食事が取れない多くの家庭が、カロリーは高いが栄養価値は低い「ジャンクフード」に頼ります。

牛肉の場合、巨大工場で工業製品として作られます。解体などの工程は労働者がついていけないほど速く、不衛生な飼育場で繁殖した病原菌が処理されないままばらまかれる危険がつきまといまいます。大企業は下請けの農家や労働者の内部告発を許さず、権力と癒着して実情を隠し続けます。ジャンクフードの食材もこうして作られます。

今話題のTPP(環太平洋連携協定)中身もはっきりと知らされていない「大筋合意」。日本がこのまま参加したら、こうして作られた安価で粗悪な食料品がアメリカからもっと日本に入ってくるでしょう。TPPは日本の農漁業をつぶすだけでなく、医療、福祉、文化まで異質なものに変えてしまうかもしれません。

ちなみにジャンクフードとは、ジャンク=がらくた屑の意味

## 「アベ政治を許さない」3の日行動

12月3日、小川町で、「アベ政治を許さない」3の日行動に取り組みました。



生活クラブ 生協小川前



竹鮎前

**NO NUKES** 第20回 さよなら原発 東松山パレード

日時: 1月16日(土) 16時集合

さよなら原発東松山パレードは今年12月の第3土曜日16時集合となります

場所: 東松山市 箭弓町第一公園